

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月4日 (日)

会場 日立製作所日立体育館

【女子の部】 第3日目 Bコート 第3試合

チームA 市立船橋 千葉	57	{ 13 1Q 21 18 2Q 20 15 3Q 19 11 4Q 12 OT	72	チームB 聖カタリナ女子 愛媛
--------------------	----	---	----	-----------------------

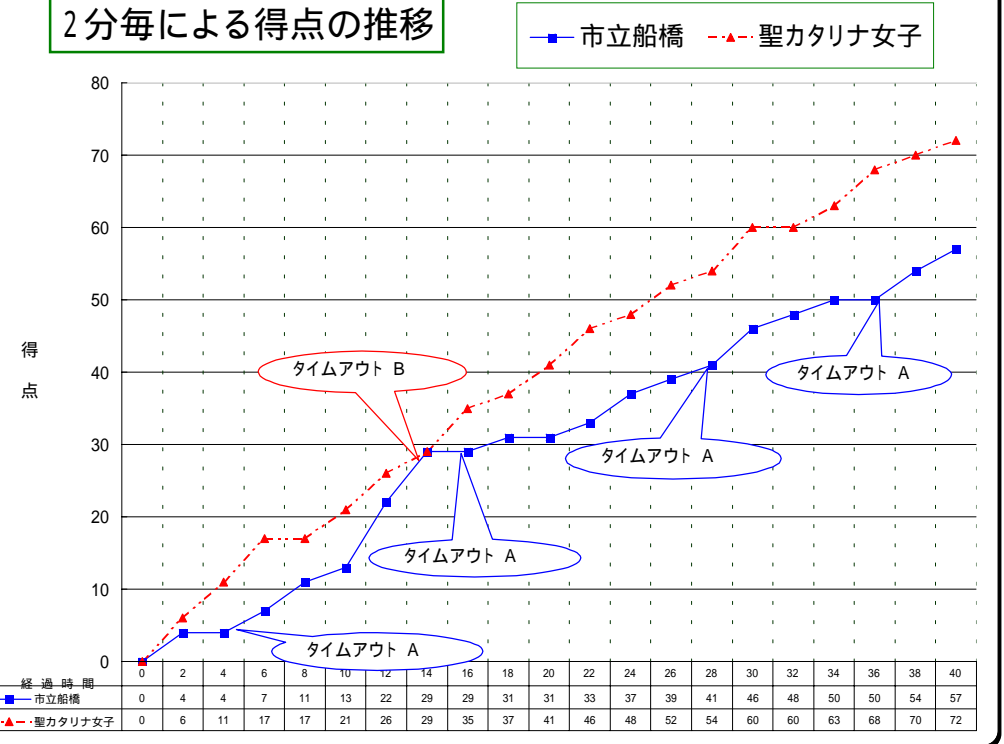
市立船橋

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	阿形美由紀	24	4	7	6	13	0	0	1	0	2	1	1	0	1	38
5	岩崎菜都美	4	0	0	2	9	0	0	1	1	1	3	0	1	0	29
6	馬杉 千絵	14	0	1	7	18	0	0	2	3	3	3	4	3	1	40
7	瀧口 純代	7	1	4	2	7	0	0	1	2	3	3	1	1	2	34
8	谷山由紀子	4	0	0	2	8	0	0	0	4	1	3	3	1	0	34
9	石田ともみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
10	長井 亜樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
11	富永 文															DNP
12	中山理枝子															DNP
13	折井 嘉代	4	0	0	1	5	2	2	1	1	1	1	0	1	0	15
14	及川麻衣子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
15	渡辺亜希子															DNP
コーチ	鈴木義高								0							
		57	5	12	20	60	2	2	6	11	11	14	9	8	4	200
		確率	41.7%		33.3%		100.0%			計	22					

聖カタリナ女子

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	兵頭 美香	6	0	0	3	3	0	0	1	1	1	2	1	2	0	21
5	川井 梢	8	0	1	4	8	0	0	2	1	9	7	2	5	0	40
6	近藤 啓子	14	0	0	7	12	0	0	0	1	5	0	2	3	2	20
7	藤原 葵	5	1	2	1	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	12
8	門屋 歩美	2	0	1	1	4	0	0	0	1	2	2	1	1	2	31
9	星川佳奈子	14	4	5	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	15
10	伊藤 菜々															DNP
11	野中 美里	11	3	7	1	2	0	0	0	0	0	4	2	3	0	29
12	田所 亜希	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
13	兵頭 一子	10	0	1	5	9	0	0	2	2	4	2	0	5	0	29
14	生盛ひとみ															DNP
15	小西真理子															DNP
コーチ	一色 建志								0							
		72	8	17	24	41	0	0	8	6	22	20	8	19	4	200
		確率	47.1%		58.5%					計	28					

2分毎による得点の推移



戦評

ベスト8をかけた3回戦、聖カタリナ女子、市立船橋ともにハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。カタリナは#6近藤や#7藤原、#4兵頭がシュートを決め、第1P5分で15-4と一方的な展開となる。市立船橋はタイムアウト後、ゾーンプレスゾーンディフェンスに切り替え、カタリナのボール運びが止まる。しかし、市立船橋のオフェンスの決め手を欠き、カタリナ21-13市立船橋で第1Pを終える。

第2Pカタリナは市立船橋のゾーンプレスゾーンを攻めきれず、残り5分で26-26の同点に持ち込まれるが、#9星川の連続3本3Pシュートと固いハーフコートマンツーマンディフェンスで相手を封じ、カタリナ41-31市立船橋で前半を終了する。

第3Pモカタリナは市立船橋のゾーンプレスゾーンを崩せないながら#11荒尾、#13兵頭、#5川井らが得点を重ね、市立船橋の#4阿形、#6馬杉らがシュートを決めるも点差が縮まらず、カタリナ60-46市立船橋で第3P終了。

第4Pモカタリナは市立船橋のゾーンプレスゾーンを崩せず、24秒オーバータイムを取られるが、勝負所の3Pシュートを#9星川、#11荒尾が決め、#13兵頭も厳しいディフェンスをかいくぐりゴール下のシュートを決め、72-57で市立船橋を下し、ベスト8入りを果たした。

主審 須黒 祥子

副審 清水 幹治

記入者 佐藤 剛